

幼小中つながる通信 vol.83

発行：令和 2 年 11 月 11 日 袋井市教育委員会

小中学校につながる「幼児期の運動遊び」



外部講師の補助のもと「逆さ感覚」を体験（袋井あやぐも学園袋井東幼稚園）

幼小中のつながり



小学校のマット運動の授業

「〇〇感覚」を身に付ける

市内の幼稚園では、定期的に外部講師を招き、日頃は体験できない動きを、「運動遊び」として体験します。一度体験したことは、日頃の遊びにも生かされるようになり、子どもたちは毎日の遊びを通して「つかむ」「まわる」「跳ぶ」…様々な感覚を身に付けます。新しい感覚を身に付けることで、より難しいことにも挑戦してみようとする気持ちが芽生えます。



中学校の部活動の大会

「体育」や「部活動」につながる

小学校になると体育の授業が始まります。体育の授業では幼児期に身に付けた感覚を生かして、運動能力を高めていきます。また、中学生になると、より専門的に競技に打ち込みたい生徒の多くは運動部に入部します。仲間と協力する姿勢や、自分の目標達成に向けて努力する姿は、幼児期の運動遊びが基盤となっています。

